

◆ 今週のコメント (感染地域、感染経路については推定を含みます。)

- ・ 細菌性赤痢の報告が1例(60歳代女性)ありました。感染地域は国内で、感染経路は経口感染です。本年2例目の報告となっています。
- ・ A型肝炎の報告が1例(40歳代男性)ありました。症状は全身倦怠感、発熱及び黄疸等で、感染地域は国内です。本年の累積報告数は14例となりました。
- ・ マラリアの報告が1例(40歳代女性)あり、症状は発熱及び頭痛です。感染地域は国外(タンザニア)で、感染経路は蚊です。本年初めての報告となっています。
- ・ アメーバ赤痢(腸管アメーバ症)の報告が1例(50歳代男性)ありました。感染地域は国内、感染経路は不明です。本年の累積報告数は18例となりました。
- ・ カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症の報告が2例(80歳代男性及び70歳代女性)ありました。症状はともに尿路感染症で、感染地域は国内です。本年の累積報告数は32例となりました。
- ・ 水痘(入院例)の報告が1例(80歳代男性)あり、症状は発疹で、感染地域は国内です。本年の累積報告数は3例となりました。
- ・ 百日咳の報告が1例(20歳代女性)あり、症状は持続する咳、夜間の咳き込み、呼吸苦です。感染地域は国内、感染経路は家族内感染です。本年の累積報告数は60例となりました。
- ・ 風しん(検査診断例)の報告が2例(20歳代男性及び50歳代女性)あり、症状は発熱、発疹等です。感染地域はともに国内で、感染経路は飛沫感染です。本年の累積報告数は8例となりました。

◆ 今週のトピックス:<インフルエンザ>

今週の京都市のインフルエンザ定点当たり報告数は、0.03で先週の0.16より減少しました。全国の定点当たり報告数も0.19で、先週と同数となり全国的にも流行の兆しはまだありません。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- ・ 二類:結核 7例(肺結核 3例, 肺外結核 なし, 潜在性結核感染者 4例)うち喀痰塗抹陽性 なし
【1月以降の累積報告数 279例(肺結核 126例, その他結核 68例, 潜在性結核感染者 85例)うち喀痰塗抹陽性 66例】
- ・ 三類:細菌性赤痢 1例【1月以降の累積報告数 2例】
- ・ 四類:A型肝炎 1例【1月以降の累積報告数 14例】
- ・ 四類:マラリア(熱帯熱) 1例【1月以降の累積報告数 1例】
- ・ 五類:アメーバ赤痢 1例【1月以降の累積報告数 18例】
- ・ 五類:カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 2例【1月以降の累積報告数 32例】
- ・ 五類:水痘(入院例) 1例【1月以降の累積報告数 3例】
- ・ 五類:百日咳 1例【1月以降の累積報告数 60例】
- ・ 五類:風しん(検査診断例) 2例【1月以降の累積報告数 8例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ	インフルエンザ	0.03	2
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	4.33	186
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.81	35
	③ RSウイルス感染症	0.65	28
	④ 手足口病	0.47	20
	⑤ ヘルパンギーナ	0.37	16
眼科	流行性角結膜炎	0.80	8

【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス:<インフルエンザ>

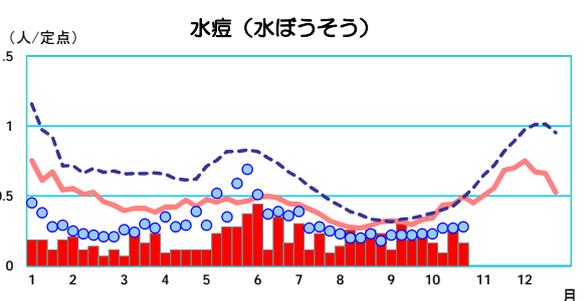
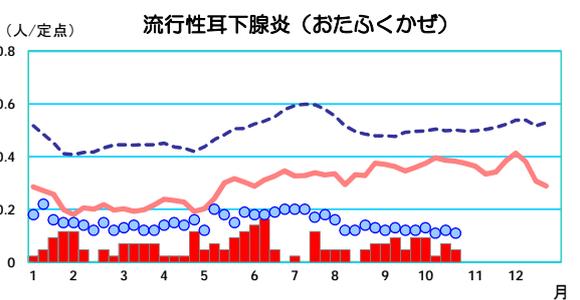
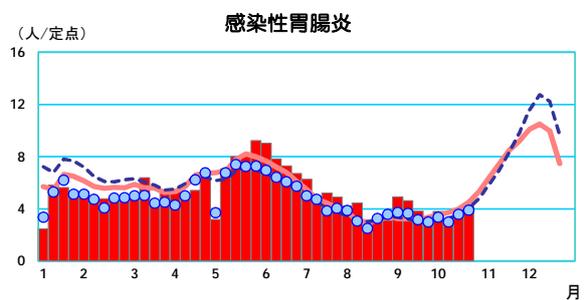
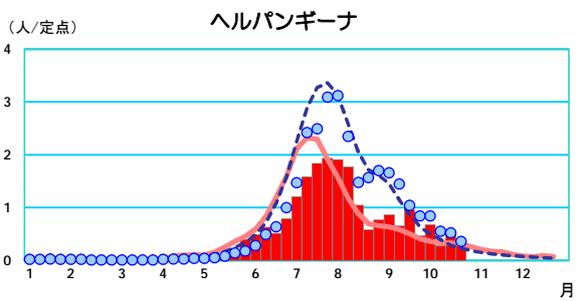
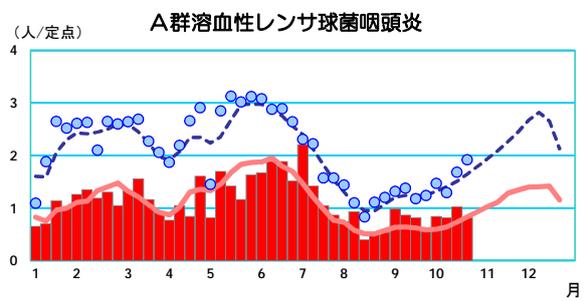
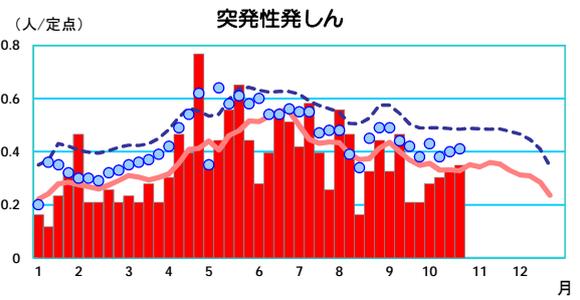
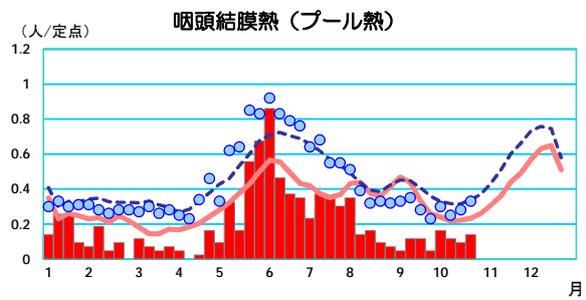
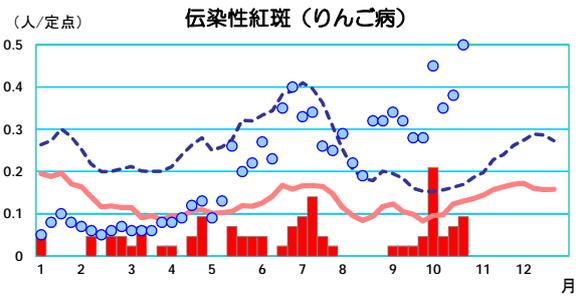
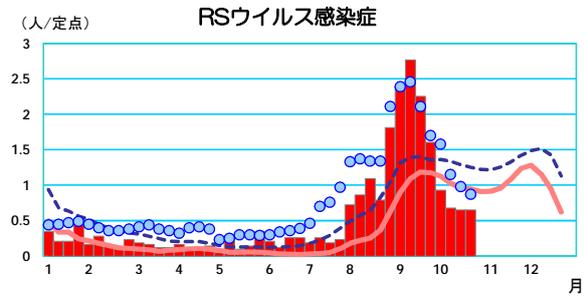
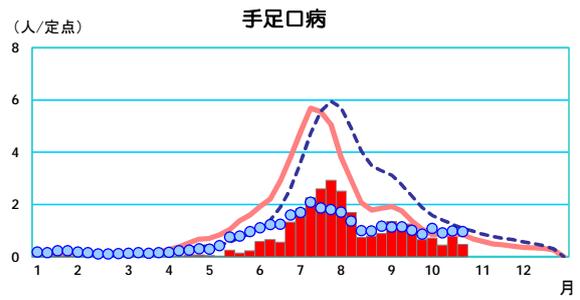
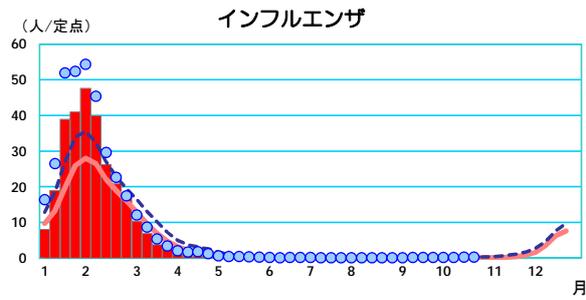
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注)京都市のデータは、平成30年10月31日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。

また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

※ 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成30年）



第43週(10月22日～10月28日)トピックス: <インフルエンザ>

今週の京都市のインフルエンザ定点当たり報告数は、0.03で先週の0.16より減少しました。全国の定点当たり報告数も0.19で、先週と同数となり全国的にも流行の兆しはまだありません(図1)。

京都市のシーズン別定点当たり報告数推移は、第45週以降に立ち上がり、第5週前後にピークを迎えるというパターンが多く見られます(図2)。定点当たり報告数が流行シーズン入りの指標とされる1を超える週を基点にピークまでの期間をみると、6～9週間を要するシーズンが多い中、3週間(平成26年/平成27年)というシーズンもあり注意が必要です(表1)。

そこで、流行状況を迅速にお知らせするために、今週より下記URLにて今シーズンのインフルエンザ発生状況報告を開始しましたのでご活用下さい。

○ 京都市情報館「インフルエンザ発生状況」

<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000102856.html>

インフルエンザの予防策としては手洗い、うがい、咳エチケットなどの一般的な衛生行動が重要です。また、予防接種は10月中旬以降から始まります。

なお、インフルエンザワクチンは、そのシーズンに流行するインフルエンザウイルスの「型」を予測して作られており、約5箇月しか効果が持続しないため、毎年接種する必要があります。接種回数は13歳未満は2回です。13歳以上の接種は1回または2回とされていますが、医師が特に必要とする場合を除いては1回でよいとされています。任意接種のため、費用は自己負担となります。接種の詳細はかかりつけの医療機関でご相談下さい。

図1 京都市及び全国の定点当たり報告数の推移

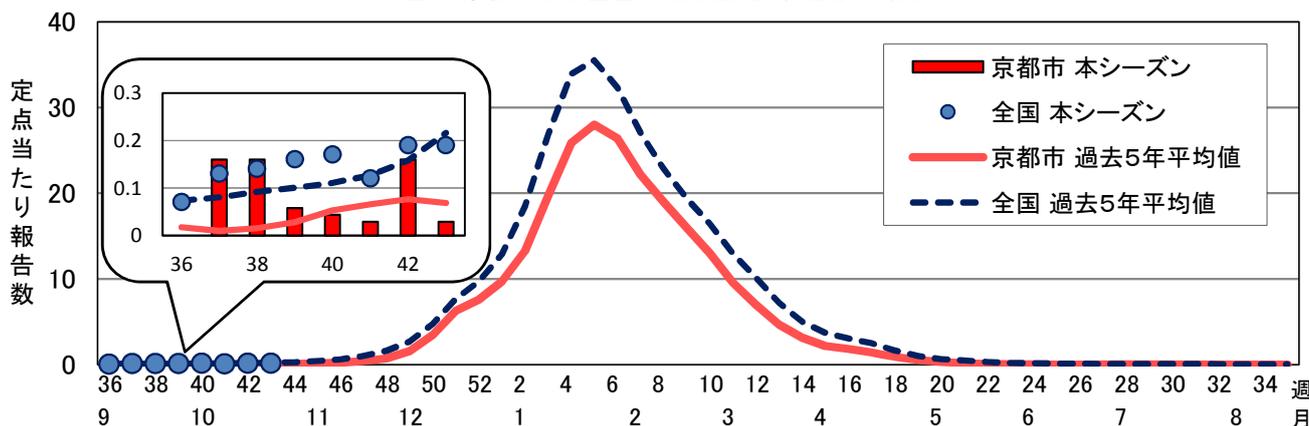


図2 京都市のシーズン別定点当たり報告数の推移

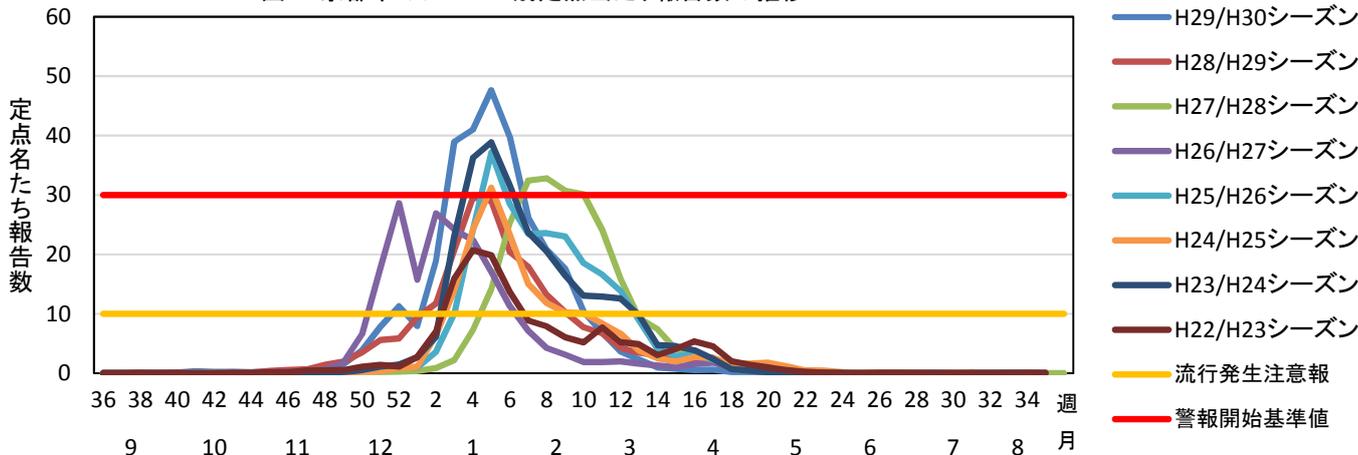


表1 定点当たり報告数が1を超えピークを迎えるまでの期間のシーズン別まとめ

シーズン	H22/H23	H23/H24	H24/H25	H25/H26	H26/H27	H27/H28	H28/H29	H29/H30
1.00超の週	第50週	第51週	第1週	第52週	第49週	第3週	第48週	第48週
ピークの週	第4週	第5週	第5週	第5週	第52週	第8週	第4週	第5週
ピーク時定点当たり報告数	20.73	38.89	31.22	37.19	28.63	32.82	29.59	47.63
1.00超～ピークの期間	6週間	6週間	4週間	5週間	3週間	5週間	8週間	9週間

T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成30年第43週

疾病,行政区別報告数

平成30年10月22日～平成30年10月28日

データ入手日:平成30年10月31日

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)
男女合計																		
北	1	1	1	-	3	-	-	-	1	-	-	-	3					
上京	-	-	1	2	7	-	1	1	-	1	-	-	-					
左京	-	5	-	4	66	2	3	-	1	2	-	-	-					
中京	-	4	-	2	7	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	2	-	-	15	-	1	-	-	-	-	-	-					
山科	-	3	-	4	1	1	-	-	1	4	-	-	2					
下京	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
南	-	-	1	1	18	-	4	-	1	1	-	-	-					
右京	-	6	-	8	15	1	2	-	1	4	-	-	2					
伏見	-	5	-	11	49	1	9	3	9	2	1	-	-					
西京	1	1	3	3	5	1	-	-	1	1	1	-	1					
京都市計	2	28	6	35	186	7	20	4	15	16	2	-	8	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)
男女合計																		
北	0.14	0.25	0.25	-	0.75	-	-	-	0.25	-	-	-	3.00					
上京	-	-	0.33	0.67	2.33	-	0.33	0.33	-	0.33	-	-	-					
左京	-	1.25	-	1.00	16.50	0.50	0.75	-	0.25	0.50	-	-	-					
中京	-	1.33	-	0.67	2.33	0.33	-	-	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	1.00	-	-	7.50	-	0.50	-	-	-	-	-	-					
山科	-	0.60	-	0.80	0.20	0.20	-	-	0.20	0.80	-	-	2.00					
下京	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
南	-	-	0.33	0.33	6.00	-	1.33	-	0.33	0.33	-	-	-					
右京	-	1.20	-	1.60	3.00	0.20	0.40	-	0.20	0.80	-	-	2.00					
伏見	-	0.71	-	1.57	7.00	0.14	1.29	0.43	1.29	0.29	0.14	-	-					
西京	0.13	0.20	0.60	0.60	1.00	0.20	-	-	0.20	0.20	0.20	-	1.00					
京都市計	0.03	0.65	0.14	0.81	4.33	0.16	0.47	0.09	0.35	0.37	0.05	-	0.80	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成30年第43週

年齢階級, 疾病別報告数

平成30年10月22日～平成30年10月28日

データ入手日:平成30年10月31日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上						
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢3	28	5	7	9	4	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		6	-	-	2	1	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		35	1	-	1	1	-	2	6	3	3	12	1	3	-	2	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		186	5	8	18	25	19	15	12	8	11	12	11	14	4	24	-	-	-	-	-	-
水痘		7	-	1	-	-	-	2	-	2	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		20	-	1	4	6	-	3	2	-	-	2	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		4	-	-	-	-	1	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		15	-	5	5	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		16	-	-	7	4	2	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎	8	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	1	2	1	-	2	-	-	
細菌性髄膜炎(※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上						
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	0.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.01	-	-	0.01	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢3	0.65	0.12	0.16	0.21	0.09	0.05	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		0.14	-	-	0.05	0.02	-	-	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.81	0.02	-	0.02	0.02	-	0.05	0.14	0.07	0.07	0.28	0.02	0.07	-	0.05	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		4.33	0.12	0.19	0.42	0.58	0.44	0.35	0.28	0.19	0.26	0.28	0.26	0.33	0.09	0.56	-	-	-	-	-	-
水痘		0.16	-	0.02	-	-	-	0.05	-	0.05	-	-	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		0.47	-	0.02	0.09	0.14	-	0.07	0.05	-	-	0.05	-	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		0.09	-	-	-	-	0.02	-	-	0.02	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.35	-	0.12	0.12	0.12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		0.37	-	-	0.16	0.09	0.05	-	0.02	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		0.05	-	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎	0.80	-	-	-	-	-	0.10	0.10	-	-	-	-	-	-	0.10	0.20	0.10	-	0.20	-	-	
細菌性髄膜炎(※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成30年第43週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成30年10月31日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	11	4	3	2	11	2
RSウイルス感染症	97	69	40	29	28	28
咽頭結膜熱	5	2	7	5	4	6
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	35	24	36	35	44	35
感染性胃腸炎	164	143	163	126	167	186
水痘	8	10	7	4	12	7
手足口病	54	28	31	19	42	20
伝染性紅斑	1	2	9	2	3	4
突発性発しん	9	9	12	13	14	15
ヘルパンギーナ	41	20	29	12	21	16
流行性耳下腺炎	2	4	4	1	3	2
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	11	12	13	5	7	8
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合計	438	327	354	253	356	329

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	0.16	0.06	0.04	0.03	0.16	0.03
RSウイルス感染症	2.26	1.60	0.93	0.67	0.65	0.65
咽頭結膜熱	0.12	0.05	0.16	0.12	0.09	0.14
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.81	0.56	0.84	0.81	1.02	0.81
感染性胃腸炎	3.81	3.33	3.79	2.93	3.88	4.33
水痘	0.19	0.23	0.16	0.09	0.28	0.16
手足口病	1.26	0.65	0.72	0.44	0.98	0.47
伝染性紅斑	0.02	0.05	0.21	0.05	0.07	0.09
突発性発しん	0.21	0.21	0.28	0.30	0.33	0.35
ヘルパンギーナ	0.95	0.47	0.67	0.28	0.49	0.37
流行性耳下腺炎	0.05	0.09	0.09	0.02	0.07	0.05
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	1.10	1.20	1.30	0.50	0.70	0.80
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合計	10.93	8.49	9.20	6.25	8.72	8.25

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。